

Appendix. 消毒薬一覧

I. 高水準消毒薬

実際に使用する際は、当該薬剤の医薬品添付文書をご確認ください。

*濃度表示は、アルコール系とクレゾールはvol(v/v)%, その他はw/v%

分類	一般名	代表的商品名	使用濃度	消毒対象
アルデヒド系	グルタラール (グルタルアル デヒド)	ステリハイドL ¹⁾ ステリスコープ*	0.5% 2% 3%*	医療器具
	フタラール (オルトフタル アルデヒド)	ディスオーバ ²⁾	0.55% (原液)	医療器具
酸化剤	過酢酸 (エタンパルオ キソ酸)	アセサイド ⁴⁾ エスサイド	第一剤 (主剤) と、第二剤 (緩 衝化剤) の組み 合わせ製剤。 精製水で希釈 し、0.3%実用 液として使用す る。	医療器具

作用機序	備考
アルデヒド基 (-CHO) が、菌体構成アミノ酸のスルフィドリル基 (-SH) あるいはアミノ基 (-NH ₂) と反応し、また、微生物のDNA合成・蛋白合成を阻害し、死滅させる。 ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・人体には使用しない。 ・液の付着で皮膚の着色や化学損傷が起こる。 ・蒸気は眼、呼吸器等を刺激するので、換気の良い所で取り扱う。 ・ふた付き容器を用い、浸漬中はふたをする。 ・必ず保護具 (ゴーグル、防水エプロン、マスク、ゴム手袋等) を装着する。 ・床の清拭や超音波ブライザー、食器類・リネン類の消毒には用いない。³⁾ <p>※3%液製剤は、内視鏡の殺菌消毒のみ適応。</p>
過酢酸が分解する時に発生する活性酸素、とくにヒドロキシラジカルによる細胞の蛋白変性と細胞輸送の阻害、代謝酵素の不活化、細胞膜の破壊等により殺菌効果を示す。 ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・人体には使用しない。 ・芽胞の殺滅を要する場合は、10分以上浸漬する。 ・実用液の調製には、専用の浸漬装置を用いるか、ドラフト等を使用して蒸気の曝露を可能な限り回避する。 ・第一剤が皮膚に付着すると、痛みを感じ、表皮に白斑を生じる原因となることがあるので、ゴム手袋や防水エプロン等を着用して取り扱う。 ・実用液調製時に発生する蒸気は、眼、呼吸器等の粘膜を刺激するので、マスクや眼鏡を着用する。 ・実用液の使用および保管は、ふた付き容器等を使用する。 ・実用液は過酢酸濃度0.2%になるまで、繰り返し使用できる。 ・鉄、銅、真鍮、亜鉛鋼板、炭素鋼には腐食するため使用できない。 ・清拭や噴霧法で用いない。⁵⁾